経営戦略会議会議録

日　　時	令和８年9月30日(水)9:00～9:20
場　　所	市長室
出 席 者	〔構成員〕 市長、伊藤副市長、小玉副市長、教育長、総務部長、総合政策部長、 財務部長、みらい教育創造部長 〔陪席者〕 行政経営課長、政策推進課長、秘書課長、財政課長、教育総務課長 (事務局)政策推進課 〔説明者〕 総合政策部長
議　　題	施政方針に掲げた施策(重点化事業等)の進捗管理の導入について
論　　点	市長が施政方針に掲げた施策について、年度途中の到達状況を全庁的に把握し、課題や遅れを早期に捉えて必要な対応につなげるため、統一様式による四半期ごとの進捗管理を新たに導入するとした提案。
説明要旨	・ 施政方針に掲げた施策を全庁的に管理する新たな仕組みを導入する。 ・ 四半期マイルストーンを設定し、年度途中に課題や遅れを把握し、必要な対応につなげる。 ・ 「市民にとって何が変わるか」を市民に伝わる言葉で整理する。 ・ 管理職を含めた組織内の議論により内容を確定する。 ・ 進捗を可視化し、経営判断と積極的な情報発信に活用する。
主な意見等	・ 予算にも関わる内容であり、主要施策の進捗管理を図ることは重要だ。今後、概算要求から枠配分へ予算編成のフェーズを進めるが、必要な投資は積極的に行うメリハリのある予算にしたい。 ・ 施政方針に掲げた施策のみの進捗管理では、該当しない施策にあたる職員のモチベーションに関わらないか、全ての事業の進捗管理を行うことは負担感もあることは理解するが、新たな進捗管理の取組を周知する際には一定の配慮が必要と思慮する。 ・ 進捗管理は円滑な市政運営のための一手段であり、それ自体が目的とならないよう留意が必要。 ・ 集約された進捗状況を見て経営戦略会議構成員で遅れなど判断が必要な施策について議論し、意見をすることが重要だ。様々課題があると思うがまずは進めていきたい。
結　　論	・ 施政方針に掲げた施策(重点化事業等)の進捗管理を導入することについて、提案内容のとおり了承された。